

# あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者※により流域全体で行う「流域治水」へ転換する※国・都道府県・市町村・企業・住民等

課題

・気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要  
・行政が行う防災対策を国民にわかりやすく示すことが必要

対応

・河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換

・令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「流域治水プロジェクト」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速【全国の1級水系を対象に、夏頃までに中間とりまとめを行い、令和2年度中にプロジェクトを策定】

■「流域治水」への転換

・「流域治水」へ転換し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を多層的に推進【これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置】

①氾濫をできるだけ防ぐ

②被害対象を減少させる

③被害の軽減・早期復旧・復興

（ためる、しみこませる）  
【国・市、企業、住民】  
雨水貯留浸透施設の整備、  
田んぼやため池等の治水利用  
※グリーンインフラ関係施策と併せて推進

（よりリスクの低いエリアへ誘導）  
土地利用規制、移転促進、金融による  
誘導の検討等 【市、企業、住民】  
（被害範囲を減らす）二線堤等の整備 【市】

（土地のリスク情報の充実）【国・県】  
水災害リスク情報の空白地帯解消等  
（避難態勢を強化する）【国・県・市】  
長期予測の技術開発、  
リアルタイム浸水・決壊把握  
（経済被害の最小化）【企業、住民】  
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定  
（住まい方の工夫）【企業、住民】  
不動産取引時の水害リスク情報提供、  
金融の活用等  
（支援体制を充実する）【国・企業】  
官民連携によるTEC-FORCEの  
体制強化  
（氾濫水を早く排除する）  
【国・県・市等】  
排水門等の整備、排水強化

（ためる）  
【国・県・市、利水者】  
利水ダム等において貯留水を  
事前に放流し水害対策に  
活用  
遊水地等の整備・活用【国・県・市】  
（安全に流す）【国・県・市】  
河床掘削、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備  
（氾濫水を減らす）【国・県】  
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

（今後の水害対策の進め方）  
1st 近年、各河川で発生した洪水に対応  
・緊急治水対策プロジェクト（甚大な被害が発生した7水系）  
・流域治水プロジェクト（全国の1級水系において早急に  
実施すべき事前防災対策を加速化）  
速やかに 気候変動を踏まえた河川整備計画等の見直し  
2nd 気候変動の影響を反映した  
抜本的な治水対策を推進  
・治水計画の見直し  
・将来の降雨量増大に備えた対策

（イメージ）※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中

★戦後最大（昭和XX年）と  
同規模の洪水を安全に流す  
浸水範囲（昭和XX年洪水）  
★対策費用  
■河川対策  
■流域対策（集水域と氾濫域）  
■ソフト対策  
・水位計・監視カメラ設置、  
マイ・タイムライン作成 等

■利水ダムの治水活用  
・全国の1級水系（ダムがある99水系）毎に事前放流等を含む治水  
協定を締結し、新たな運用を開始【令和2年出水期から】  
・2級水系についても同様の取組を順次展開

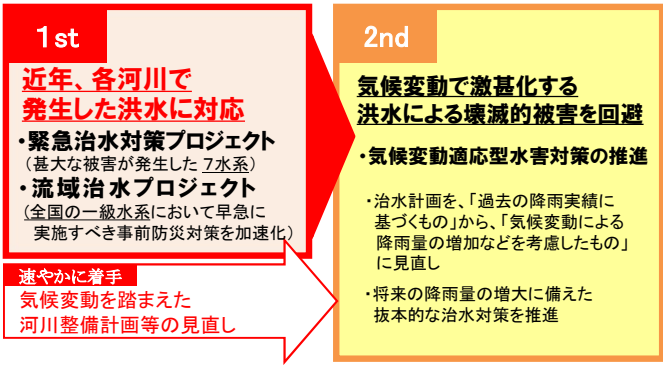
（グリーンインフラの活用）  
自然環境が有する多様な機能を  
活用し、雨水の貯留・浸透を促進  
雨庭の整備（京都市）

※県：都道府県、市：市町村を示す  
〔〕内は想定される対策実施主体を示す

# 「流域治水プロジェクト」に基づく事前防災の加速

- 課題
- ◆ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築することが必要
- 対応
- ◆ 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「**流域治水**」へ転換
- ◆ 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「**流域治水プロジェクト**」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、「**流域治水プロジェクト**」を令和2年度中に策定

## 今後の水害対策の進め方（イメージ）



## 全国7水系における「緊急治水対策プロジェクト」

◆ 令和元年東日本台風(台風第19号)により、甚大な被害が発生した7水系において、国・都県・市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」に着手。

| 水系名  | 河川名    | 緊急治水対策プロジェクト<br>(概ね5～10年で行う緊急対策) |          |                                                                                 |
|------|--------|----------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------|
|      |        | 事業費                              | 期間       | 主な対策メニュー                                                                        |
| 阿武隈川 | 阿武隈川上流 | 約1,840億円                         | 令和10年度まで | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 支川に危機管理型水位計及びカメラの設置<br>浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等 |
|      | 阿武隈川下流 |                                  |          |                                                                                 |
| 鳴瀬川  | 吉田川    | 約271億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堤防整備<br>【ソフト対策】 浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等                           |
| 荒川   | 入間川    | 約338億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 高台整備、広域避難計画の策定 等                             |
| 那珂川  | 那珂川    | 約665億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等                                |
| 久慈川  | 久慈川    | 約350億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堤防整備<br>【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等                                      |
| 多摩川  | 多摩川    | 約191億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堰改築、堤防整備<br>【ソフト対策】 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等                          |
| 信濃川  | 信濃川    | 約1,768億円                         | 令和9年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 田んぼダムなどの雨水貯留機能確保<br>マイ・タイムライン策定推進 等          |
|      | 千曲川    |                                  |          |                                                                                 |
| 合計   |        | 約5,424億円                         |          |                                                                                 |

※令和2年3月31日 HP公表時点

## 全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

- ◆ 全国の一級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体の事前防災を加速

### 【イメージ】○○川流域治水プロジェクト

- ★ 戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★ …浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

#### ■河川対策

- ・堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

#### ■流域対策(集水域と氾濫域)

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導 等

#### ■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

